

活動事例報告

令和2年12月24日

有賀 元栄（長野県防災士） 日本防災士会本部会員 長野県地域防災推進協議会（松本大学内）会長

一人暮らし家庭の歳末慰問

赤羽地域社会福祉協議会の会長を務めています。区内に75歳以上、41名の方が一人暮らし家庭です（区内は約600戸、約1600人）。

会長からのメッセージを届けながら、歳末慰問を民生委員の方と、支え合い部会員にて行いました。慰問に合わせて、災害に対する備えを一言申し添えました。

一人暮らしの辛さを訴える姿に涙した一時でもありました。

「一人暮らし家庭」の新規事業として、コロナ感染拡大の問題もありますので、時期を見計らい分散型の集まりにしながら「地区内の自然災害への備え」の講話と「避難者カード」の作成をしたいと思えます。

益々増加する高齢化、一人暮らし家庭への生活支援と防災対策を真剣に考える時期です。「見守り」等の部分活動を始めましたが、年明けと共に行政と連携を深めながらさらに推進していこうと思っています。

防災士の活動は、自然災害に対する対応ばかりではありません。地域住民が少しでも「安全・安心」に暮らせる環境づくりを構築する活動がいま求められているのではないのでしょうか。



慰問先で（写真掲載了承済） 撮影者 有賀元栄



24日の掲載記事